



Steinway & Sons  
Patent Grand  
New York & Hamburg



# 華麗なヴィルトウオーソ達の 奏でた黄金時代の音が、今、蘇る！

スタインウェイ社の長い歴史の中でも「最上級のピアノ」と称して過言ではない歴史的にも  
文化的にも価値のあるピアノが、110年の時を経て今ここに！

2018 **5/23** (水) 19:00開演  
[18:30開場]

紀尾井ホール

東京都千代田区紀尾井町6番5号 TEL:03-5276-4500

<http://www.kioi-hall.or.jp/>

mapや駐車場の情報はこちらから→



全席指定(税込) S席 6,800円 A席 4,000円

チケットのお取り扱い：紀尾井ホールチケットセンター  
03-3237-0061

紀尾井ホールウェブチケット：<http://www.kioi-hall.or.jp/>

- 主催：株式会社アイマネージ
- 協賛：公益財団法人文化科学教育研究会
- 協賛：日本ピアノホールディング株式会社 ピアノプラザ群馬

お問い合わせ：株式会社アイマネージ

03-6435-3889 (土・日祝除く/9:00~18:00)

## プログラム

第1部 ・山田耕柞作曲 からたちの花 ソプラノ野々村彩乃 ピアノ高橋優介  
・岡野貞一作曲 朧月夜

・F. シューベルト3つのピアノ曲 ピアノ 岩井のぞみ  
作品9 4 6より 第2番 変ホ長調  
・W.A. モーツァルト ピアノ・ソナタ  
第13番 変ロ長調 作品3 3 3

第2部 ・ラフマニノフ ソナタ2番 ピアノ 高橋優介  
・リスト ラ・カンパネラ

・G. プッチーニ作曲  
「ジャンニ・スキッキ」より私のお父さん ソプラノ野々村彩乃 ピアノ高橋優介  
・G. プッチーニ作曲  
「マノン・レスコー」より この柔らかなレースの中に  
・E. デッラクァ作曲 ヴィラネル

(出演者、曲目、ピアノは変更になる場合があります。)

# Performer profile

～出演者 プロフィール～



ピアニスト 高橋 優介  
(Pianist: Yusuke TAKAHASHI)

1994年、千葉県出身。上野学園高等学校、同大学音楽学部音楽学科演奏家コース、同大学専攻科にて8年間研鑽を積み、第10回東京音楽コンクールピアノ部門第1位及び聴衆賞受賞。NPO法人芸術・文化若い芽を育てる会第5回奨励学生。これまでに、指揮者の飯森範親、梅田俊明、円光寺雅彦、大友直人、下野竜也高関健、山下一史の各氏と、ヴァイオリンの前橋汀子、矢部達哉、ヴィオラの今井信子、メゾソプラノ歌手の波多野睦美の各氏と共演。上野学園大学管弦楽団、千葉交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、山形交響楽団と共演。ソルフェージュを佐怒賀悦子、管絃楽法を高島亜生、和声学を西尾洋、室内楽を矢部達哉、今井信子、原田禎夫、坂真一郎、ピアノを齋藤由里子、横山真子、宮本玲奈、横山幸雄、久保春代、川田健太郎の各氏に師事。



ピアニスト 岩井 のぞみ  
(Pianist: Nozomi IWAI)

4歳からピアノを始め、桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部を卒業後、米国のTexas Christian University SCHOOL OF MUSICのARTIST DIPLOMA PROGRAMを経て同大学の大学院を卒業。近年では2013年、第3回バルティック国際ピアノコンクール第3位、2015年、チッタ・ディ・カントゥ国際ピアノコンクールにてベートーヴェン特別賞、2016年、シュエルト国際ピアノコンクールでも審査委員特別賞を受賞するなど国内外の数々のコンクールで入賞。また、日本のみならず世界各地で精力的に演奏活動を行っている。これまでに植田克己、丸山 滋、上野久子、Tamas Ungarの各氏に師事。



ソプラノ 野々村 彩乃  
(Soprano: Ayano NONOMURA)

山口県下関出身。広島音楽高校、大阪音楽大学で学ぶ。在学中ウィーン国立音楽大学夏期セミナー参加。ディプロマ取得。東京二期会オペラ研修所終了。全日本学生音楽コンクール高校の部、大学の部、二度優勝。同時に聴衆賞、日本放送協会賞受賞。ニューヨーク カーネギーホール リサイタルホールにてリサイタルを行う。選抜高校野球大会(甲子園)、プロ野球オールスター戦、Jリーグ開幕などで国歌独唱を務める。NHKドラマ「とと姉ちゃん」「紅白が生まれた日」の挿入歌を歌う。白石盾紀氏、田中由也氏、クラウス・ホーフアー氏、ペー・チェツェル氏に師事。

## パリで発掘された1906年製ハンブルグ・スタインウェイ D-274

1853年に創業したスタインウェイ社は、その長い歴史の中で、ルビンシテイン、パデレフスキ、ラフマニノフ、ホフマン、ホロヴィッツ、ルービンシュタイン、グールド等、歴代の巨匠に愛用され、その絶対的評価を確立しました。現在ニューヨークとハンブルクの2ヶ所の工場で製造され、世界のコンサートステージの約95%で使用されていると言われ、正に「世界のピアノの代名詞」の名称に相応しいと言えるでしょう。

今回のスタインウェイ・フルコンサートピアノは、今からちょうど110年前にドイツで製造され、2度の世界大戦を生き延び、奇跡的に製造当時に近いと思われる状態で発見されました。そして、このピアノの外装には、最上級のローズウッド材が用いられ、脚やペダル部分、譜面台には華麗な装飾が施されており、細部まで随所に最高の材料が贅沢に使用されています。それらを最大限に生かして修復され、往年の美しい音色が見事に蘇りました。

このピアノが製造された20世紀初頭は、既に現代ピアノの構造も完成し、最高の材料を豊富に使用して数多くの名器が生まれ、多くの伝説的巨匠達が活躍した事から「黄金時代」と呼ばれます。そして、この20世紀初頭のハンブルク・スタインウェイのフルコンサートピアノは極めて残存数が少なく、歴史的・文化的にも価値の高いピアノです。長い年月を経て熟成された芳醇な音色を心ゆくまでお楽しみください。